

# 日本画

応募点数	47点	招待作品	12点
入賞点数	7点	展示点数	59点
入選点数	40点	移は移動展出品作品	

(総 評) 日本画部門の今回の特色は、新しいモチーフ、例えば静物から人物へ、花鳥から風景や動物へ、人物から花へ等々に挑戦し、自分の殻を破ろうとする積極性に好感が持てました。

何年も同じモチーフを探求し続ける制作態度も立派で、どちらの勉強方法も素晴らしいと思います。

制作にあたっては感性を磨くことに併せて技術の修得が欠かせません。

いくら頭の中に良いイメージが湧いても、技術が未熟な場合、例えばイメージ10で技術が6では作者の思いが6割しか表現できません。

佳い作品を鑑賞する、読書する等々感性を磨く方法を自分で見つけてください。

一方で、基底材の紙、岩絵の具、箔、ニカワなどの素材や用具の扱い方の勉強を続けてください。

まだまだ、おとなしい作品が多いように感じます。

日本画の技法は工夫次第で無限に有ると考えます。

失敗を恐れずに新しい試みに果敢に挑戦されるように期待しております。

鑑賞される皆様には、日本画独特の顔料である、本来美しい「岩絵の具」を充分使いこなせているか、作者の訴えかけるものが伝わってくるか等をポイントに、ゆっくりとお楽しみください。

(文責 安部 富男)

## 知事賞 移

### ちい たんけんたい 小さな探検隊

もり わき じゅん こ  
森 脇 純 子 (出雲市)

ドカンの中を、未知の何かを探して入り込んで行く男の子達の様子が、柔らかな色調と細やかな表現方法で描かれた秀作です。

ドカンの口を背景とした構図も面白く、ドカンの中と外とのコントラストも強すぎず、その明暗が上手く表現されています。また、子供達の不安そうな表情も巧みに描かれています。

これからも、細やかで優しい世界観を大切に制作されますことを期待しています。

(文責 吉岡 珠恵)

金 賞 ④

から あい  
韓 藍

にし ふじ ま ゆみ  
西 藤 真 弓 (浜田市)

最初にこの絵に対した時に思わずその迫力に感動しました。じっくり鑑賞していくと題材が伸びのびとした構図の中で丁寧に描き込まれています。空気感を漂わせた背景の処理、仕上げに向かって朱、赤系絵の具の使い方、発色も素晴らしいです。そして要所を黒で締めて堂々たる絵に仕上がっています。

伝統の日本画の技法の上に新しく力強い表現に心打たれます。これからの作品も期待一杯です。  
(文責 角田 智竭)

銀 賞 ④

り き し  
まめ 力士

はら くに こ  
原 邦 子 (出雲市)

土俵へ向かう、まめ力士とそばで支度を手伝う父親らしき人物が、力強く描いてあります。

写実力に裏づけされた、的確な構図で、試合前の緊張感と、闘志を少年の眼に表現してあります。

画面全体を、日本画独特の表現である、玉虫箔を巧みに使い、省略の中に深い味わいのある表現は好感がもてます。

思いのこもった佳い作品です。  
(文責 大森 幹雄)

銀 賞 ④

ろ じ あか  
路 地 明 り

ひき の はる お  
引 野 春 雄 (出雲市)

絵は「絵空事」と言うように自の心象の世界を表現します。

この作品は作者の心の電柱が表現されていると思います。斜めに描かれた電柱が全体の画面を切り取り絶妙なバランスを醸し、黒とグレーに統一された表現は現代的でおしゃれな作品に仕上がっています。

技術的なことを言えばトランスの数字の赤と黄色のカバーの処理の仕方でよりしっかりしたポイントができるように思います。  
(文責 小村 俊美)

銅 賞 ④

と お き お く  
遠 い 記 憶

ふく ま み ち こ  
福 間 美 智 子 (出雲市)

難しいテーマを意欲的に取り組まれた力作です。少しデッサンの狂っている所もありますが、それをあまり感じさせない程に独特の空気感や色彩で表現されています。研ぎ澄まされたシャープな線と面で家屋、一枚一枚丁寧に描かれた葉も煩わしくなく、緊張感があり、時空さえも感じられる画面になっています。対象の本質を掴んだ表現で廃屋に対する作者の思いが十分に伝わってくる見応えのある作品になっています。

(文責 福間小夜子)

## 銅賞 ⑧

きょうえん  
競艶Ⅱささき  
佐々木つとむ  
勉 (松江市)

題名のように一尾一尾の出雲なんきんが、それぞれの表情で美しさを競っている様子が表現されています。あえて中心に藻を配し、金魚を上下に配置することによって、金魚の動きが表現されています。マチエールの色も水槽の上層と底層の水の違いが感じられます。金魚のひれの部分の表現に作者の努力が感じられます。色も少ない色調でバランス良く表現されています。敢えて言えば、藻の表現をもう少し工夫されたらと思います。(文責 東野布由美)

## 銅賞 ⑨

しゅうれいむ  
秋冷に向かいてさとう  
佐藤

さゆみ (出雲市)

身のまわりでよく見かける「ヤツデ」を題材にしてえがかれた作品です。水干絵の具を中心にしてたくみにえがかれています。

構成力、デッサン力にすぐれている上、色感もすばらしいものがあります。ヤツデの葉も1枚1枚こまかいところまでえがくなど好感がもてます。

今後の活躍を期待しています。

(文責 浜村 厚子)

## 入選

題名	氏名	備考
爽花	黒田 育子 (出雲市)	
農の日々	有田 秀子 (出雲市)	島根日本画協会奨励賞
誰のおうち?	西村 朋子 (出雲市)	
冬を待つ	菅野 あい子 (松江市)	島根日本画協会奨励賞
垂下 (蔓うめもどき)	清原 茂治 (松江市)	島根日本画協会奨励賞
子宝	石倉 由美子 (松江市)	島根日本画協会新人賞
木漏れ日	石倉 由美子 (松江市)	島根日本画協会奨励賞
赤い花	五百川 由美子 (松江市)	
ラベンダーの香り	杉原 瑩子 (松江市)	
日傘さして	荒川 ゆかり (松江市)	
長月の頃	今岡 恵子 (出雲市)	
そよぐ秋	川島 涼子 (出雲市)	
残照	米原 修司 (安来市)	
ひだまり	飯塚 眞治 (出雲市)	
井上潜水橋	江戸 健 (出雲市)	
流	北脇 豊史 (出雲市)	島根日本画協会奨励賞
静かな時間	伊藤 明德 (出雲市)	島根日本画協会賞
待宵草	岸 静子 (出雲市)	
象鼻盃席	安田 嘉子 (出雲市)	
三つの顔を持つ阿修羅	奥井 正之 (出雲市)	

	題名	氏名	備考
⑩	相	小川明夫(浜田市)	島根日本画協会奨励賞
	室内Ⅱ	富岡文枝(出雲市)	
⑩	旅のいやし	大石照子(益田市)	
	遙か	野津恵子(松江市)	
	雨あがる	小林晴夫(松江市)	
	ペローナをゆく	井上櫻子(松江市)	
⑩	青い帽子Ⅱ	渡麻矢(大田市)	無鑑査
	穏やかな日	広田あつ子(安来市)	会員
	アザミ	松原安杏(松江市)	会員
	神在月	内藤章江(松江市)	会員
	椿のジュウタン	松下純子(出雲市)	会員
	紅葉	舟木美代子(松江市)	会員
	遊	青木由利(出雲市)	会員
	花雪	伊藤圭子(出雲市)	会員
	気	須谷幹子(出雲市)	会員
	遊	柳楽朝子(出雲市)	会員
	虹の架け橋(熊本県通仙橋)	田中初子(出雲市)	会員
⑩	華やま	米原ひろこ(出雲市)	島根日本画協会会員賞
⑩	郷愁	児玉美智子(益田市)	会員
	顔	三島京子(松江市)	島根日本画協会会員奨励賞

## 招待

	題名	氏名	備考
⑩	雪来る	安部富男(松江市)	
	陰森	東野布由美(出雲市)	
	春寒	大森幹雄(出雲市)	
	出雲	小村俊美(出雲市)	
	秋への誘い	清水誠子(出雲市)	
	微笑	角田智竭(松江市)	
	北海	内藤博信(松江市)	
	メリーゴーランド	中村康二(奥出雲町)	
	風雨にたえて	浜村厚子(出雲市)	
	游	福間小夜子(出雲市)	
⑩	絣を織る	村上ななほ(松江市)	
	夏を纏う	吉岡珠恵(松江市)	